

Cisco MCS Server で Microsoft OS パッチ インストールが失敗する

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[問題](#)

[解決策](#)

[関連情報](#)

概要

Cisco CallManager サーバに Microsoft オペレーティング システムのホットフィックス MS06-040 をインストールしようとする、インストールが失敗し、エラー メッセージ「You do not have permission to update <OS name>. Cisco CallManager サーバに対してシスコが提供している Microsoft のパッチのインストールのみサポートされています。これらのパッチは [Software Center](#) ([登録ユーザ専用](#)) からダウンロードできます。

前提条件

要件

このドキュメントに関しては個別の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco CallManager 4.x 以降
- Microsoft Windows 2000、Microsoft Windows 2003、Microsoft Windows XP を実行している Cisco 7800 シリーズ メディア コンバージェンス サーバ (MCS)

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

問題

Cisco CallManager 4.x に Microsoft Windows のホットフィックス MS06-040 をインストールしようとする、インストールが失敗し、エラー メッセージ「You do not have permission to update <OS name>」。

一部の Microsoft ソフトウェア アップデートは、セットアップ プログラムとして Update.exe を使用します。Update.exe バージョン 5.4.1.0 以降では、ソフトウェア アップデートをインストールするユーザは特定のユーザ権限が割り当てられた管理者であることを要件としています。必要なユーザ権限が割り当てられていないユーザが、Update.exe を使用するソフトウェア アップデート パッケージをインストールしようとする、このエラー メッセージが表示されます。設定の詳細については、[Microsoft Knowledge Base の記事 888791 \(「The user rights that are required by Update.exe」\)](#) を参照してください。

注: 2004 年 7 月以降にリリースされたパッケージの場合、そのソフトウェア アップデートで Update.exe がセットアップ プログラムとして使用されているかどうかを判別するには、ソフトウェア アップデート パッケージの [Properties] ダイアログボックスの [Version] タブで [Installer Engine] の値を調べます。2004 年 7 月より前にリリースされたパッケージの場合、使用されているインストーラおよびバージョンを判別するには、パッケージの内容を抽出する必要があります。

不足しているユーザ権限を確認するには、インストール ログ ファイルを調べます。インストール ログ ファイルに以下のエラー メッセージが記録されています。

```
2.744: d:\aab949b8ae7e35434dde6b\update\update.exe (version X.X.X.X)
```

```
2.744: Failed To Enable SE_SECURITY_PRIVILEGE
```

```
2.754: Setup encountered an error: You do not have permission  
to update OS_name. Please contact your system administrator.
```

```
2.764: You do not have permission to update OS_name.
```

注: OS_name はオペレーティング システムの名前、SE_SECURITY_PRIVILEGE は不足しているユーザ権限、X.X.X.X はバージョン番号です。

解決策

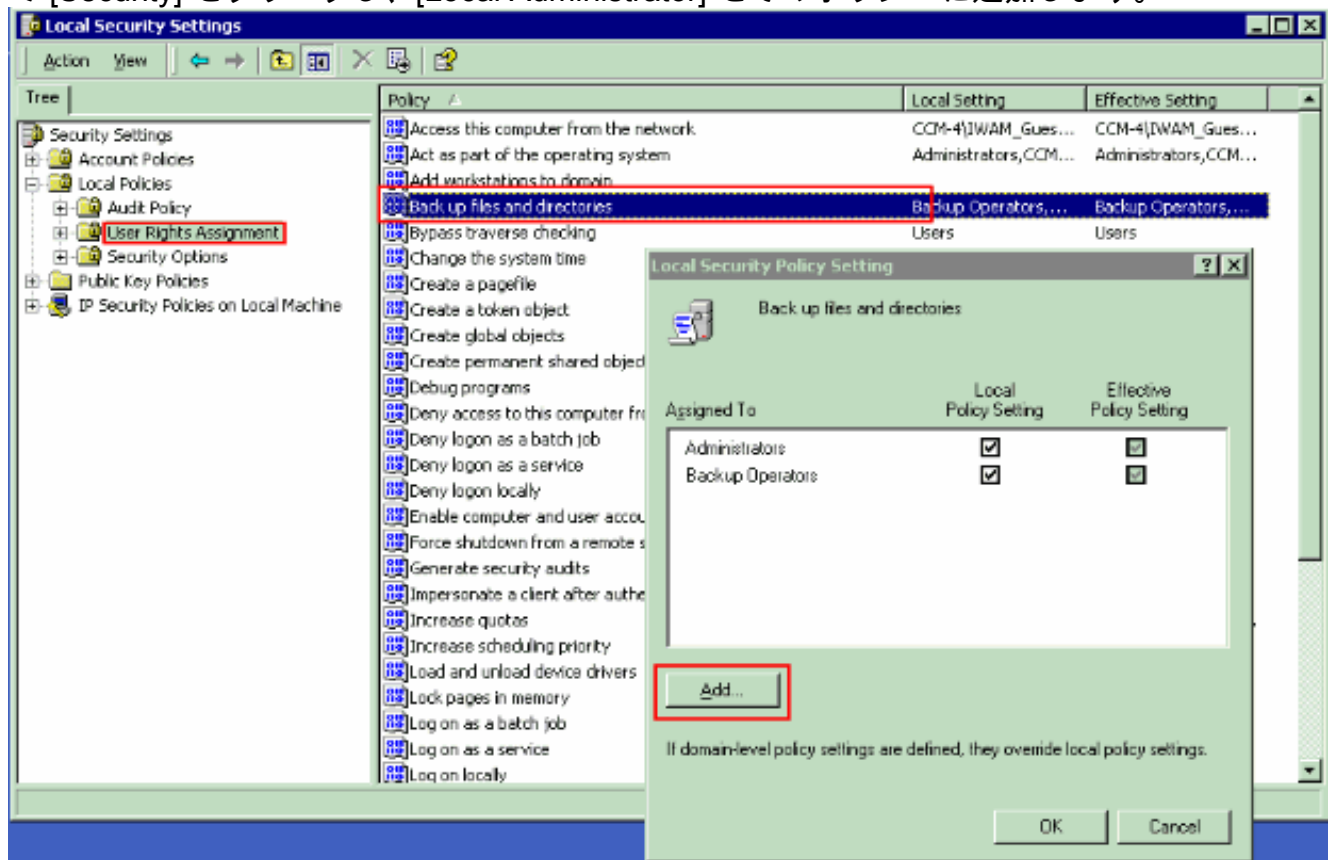
この問題を解決するには、ローカル管理者アカウントを変更して、必要なユーザ権限を割り当てます。Update.exe で要件としているユーザ権限は以下のとおりです。

- ファイルとディレクトリのバックアップ
- ファイルとディレクトリの復元
- 監査ログとセキュリティ ログの管理
- ファイルやその他のオブジェクトの所有権取得
- システムのシャットダウン
- プログラムのデバッグ

ユーザ権限を表示および変更するには、ローカル マシンで以下の手順を実行します。

1. [Start] > [Programs] > [Administrative Tools] > [Local Security Policy] の順に選択します。

2. [Security Settings] で [Local Policies] をクリックし、[User Rights Assignments] をクリックします。
3. このドキュメントで先に示した必要なポリシーを割り当てるには、ポリシーを右クリックして [Security] をクリックし、[Local Administrator] をそのポリシーに追加します。



関連情報

- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声およびユニファイド コミュニケーションに関するサポート リソース](#)
- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)